リアルタイム事務事業評価調書①【会議資料】

令和　7　年　10　月　22　日　作成

事業名	電子入札の本格実施（紙入札の廃止）									
担当部署	部	行政管理部	課	契約検査課	係	契約係				
基本施策	行財政運営									
分野別施策	行財政 - 1	行財政運営、行政改革【重要施策】								
	-									
展開方向	☑	市民サービスの質の向上と効果的・効率的な行財政運営の推進								
	☐	より一層の行政改革の推進								
	☐	デジタル化の推進								
予算科目	会計	一般	款		項		目		事業番号	
事業名称									継続・新規	

A）事業目的・概要

事業の目的	①	業務の効率化や透明性の向上。
	②	入札参加者の利便性向上。
	③	
対象者		市、事業者
主な取組み	①	平成26年12月から試行運用で電子入札実施。
	②	一部紙入札もあるが、多くの案件で電子入札実施。
	③	

B-1）過去の成果など　※事業の成果や結果を表す数値があれば記入してください。

実績・指標の説明		単位	令和4実績	令和5実績	令和6実績
①	電子入札（工事）	件	67	37	56
②	電子入札（物品・委託）	件	341	373	385
③	紙入札（工事）	件	2	3	0
④	紙入札（物品・委託）	件	123	80	79
⑤	※数値は見積含む。				

B-2）事業コスト（単位：千円）

	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
事業にかかった総経費				

B-3）その他事業に関連する事項（当該業務に割いた職員の労働時間数、時間外勤務時間、市民からの意見・反応など）

労働時間数（令和6年度実績）
紙入札業務1件あたり1．5時間×79件＝118時間　（118時間×4，708円（R6年度単価）＝555,544円）
※電話連絡、書類印刷、FAX送付、会場準備等

C）当該事業をどうしたいか（主管課の案・望む意向や方向性など）

☐	拡大	☑	廃止	☐	変更・見直し	☐	その他	

①	紙入札の廃止（令和9年度）
②	
③	
④	
⑤	

上記の考えに至った理由・経緯・背景など
または実施することでどのような効果が得られるか、将来的な展望　など

①	試行導入から一定期間が経過し、実質的には多くの案件で電子入札を実施している。
②	紙申請業者（市内）と電子申請業者が混在する場合は紙入札によるため、電子申請業者に負担がある。
③	令和8年度末まで、紙申請業者（市内）に電子申請の登録を働きかけ電子対応を促す。
④	電子対応できない市内事業者については、紙入札廃止後も随意契約による受注機会を確保する。
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

D）当該会議で聞きたいこと　※簡潔に記入してください。

①	令和7、8年度は紙入札申請を受付済みのため、令和9年度から紙入札を廃止してよろしいか。
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

E）評価会議での意見・助言等

①	契約行為の原則と例外を全職員が改めて理解したうえで、市内への発注の基本的考え方を整理する必要がある。
②	現行の入札制度を再確認するとともに、他市の状況についても調査を行うこと。これらを踏まえて、電子入札の一本化の検討を進めること。
③	
④	
⑤	

リアルタイム事務事業評価調書①ー2【会議資料】

事業名	電子入札の本格実施（紙入札の廃止）

令和7年度の事務の進め方（予定含む）※なるべく時系列に沿って記入してください。

①	3月末までに契約事務規則を改定する。
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	

リアルタイム事務事業評価調書②【実績報告・取組予定】

令和　8　年　3　月　31　日 作成

事業名	電子入札の本格実施（紙入札の廃止）					
担当部署	部	行政管理部	課	契約検査課	係	契約係

A）会議を踏まえて、今年度中に取り組むことや事務の方向性など
または会議後に対応したこと、参考としたことなど

①	東大和市契約事務規則の改正に取り組む
②	東大和市電子入札試行実施要綱の廃止に取り組む
③	職員への理解に向けた取り組みとして、随意契約ガイドラインの整備及び研修の実施。
④	小規模工事受注希望者登録制度についての他市の状況調査の実施。
⑤	

B）R7年度の実績（事業の実績を示す数値又は事業の目標としたものの結果）

	実績の説明	単位	目標値	R7実績値	【参考】R6実績値
①	電子入札（工事）	件	-	10	56
②	電子入札（物品・委託）	件	-	257	385
③	紙入札（工事）	件	-	2	0
④	紙入札（物品・委託）	件	-	49	79
⑤	※数値は見積案件を含む。				

数値として出せる実績が得られなかった（下記にその理由と当初の目標と代替する目標あれば記載してください）

理由　及び 代替する目標		
R7実績は 過去と比べて	☐ 向上した ☐ 例年通り ☐ 低下した ☑ その他	左記とした理由　又は　分析等（向上・低下した要因等）： 契約事務規則の改正により、これまで契約担当課で行っていた契約事務が主管課へ移行したことが要因で数値は減少している。また、電子入札の本格実施による影響は紙入札を廃止する令和9年度以降と想定している。

C）来年度以降の課題や見直すべき点　※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。

①	電子調達サービスを利用しない市内紙申請業者の受注機会の確保
②	
③	
④	
⑤	

D）来年（令和8年度）の取組予定　※事務予定または改善事項を記入してください。

①	取組内容	課題となった市内紙申請業者に対して、受注機会を確保する。
		対応予定内容　①紙申請業者（市内）に電子申請の登録を働きかけ電子対応を促す。
		対応予定内容　②電子対応できない市内事業者については、紙入札廃止後も随意契約による受注機会を確保する。
	取組終了時期	令和9年3月までに実施
②	取組内容	
	取組終了時期	
③	取組内容	
	取組終了時期	

【予算への反映状況】　（　8　年　3　月　31　日 時点　）

予算科目	会計	一般	款	0	項	0	目	0	事業番号	0
事業名称	0									

予算額比較（R7−R8）（単位：円）　※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。

R7予算額（①）		R8予算額（②）		差額（②−①）	
事業費合計	0	事業費合計	0	事業費合計	0
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般		一般		一般	
国		国		国	
都		都		都	
市債		市債		市債	
その他		その他		その他	

予算額比較に差額が生じたか（変更したか）

☐	生じた/変更した	☐	生じていない/変更していない

上記の要因/理由

①	
②	
③	
④	
⑤	